

受賞者からのコメント

対象：保健医療学部看護学科 3年

保健医療学部看護学第三講座 助教 牧野 夏子

「授業を行うにあたって工夫していること」

成人看護学で主に教えている周手術期看護、救急看護、重症集中看護に関して、学生はイメージが付きにくいと思いますので、興味や関心を持ってもらえるように実物の写真や映像などの視聴覚教材を活用しながら授業を行っています。

また、授業のなかで事例を紹介し、学生とのディスカッションを通して事例への看護援助を考えています。看護援助を考えるなかで基本的知識が土台となっていることを実感してもらい、かつ、学生が能動的に授業に参加できるよう感じたことを発言し他の学生の意見を聞く時間を作ること、学生間で検討した内容を発表できる場を作ることを心がけています。

「学生への要望・アドバイス等」

このような賞を頂きありがとうございます。授業や実習を通して疑問が生じた場合には、臆せずに質問して頂きたいと思います。看護の対象となる人は複雑で全体像を捉えることが難しいかもしれません。

疑問を解決できるように一緒に考えていきたいと思います。その過程のなかで、「もっと調べてみたい」「もっと知りたい」という探究心が養われていくことを期待しています。